

## 今年度の面接練習を通して

宮城県気仙沼西高等学校 教頭 石墨 安洋

今年度も昨年同様、3年生の就職希望者・進学希望者の多くの生徒たちと面接練習を行う機会を得ることができました。面接練習を通して感じたことは、自らの将来像をぼんやりと描いてはいますが、それを上手に言葉にすることができない生徒が多かったことです。自分がなぜその将来像を描くのか、目標を達成するまでのどんな手立てをするつもりなのか、職務として遂行するに当たって気をつけることは何なのか等が端的に表現できない様子でした。面接は自分を相手に知ってもらう場となります。将来像に対する自分の考えや思いが具体化されていなければ、相手に伝えることは難しくなります。それらを具体化するためには、まず自分が自分の将来をどのように描こうとしているのかを確認することが必要となります。そのために、将来について次のような3つの観点で考える作業を行ってみてください。

1つ目は単純です。自分がやりたいことを探すことです。それは、「仕事」という観点でなくても構いません。純粋に今現在自分が何をやりたいのかを具体的に挙げてみてください。そこに職業に結びつくヒントが隠れていることがあります。やりたいことが見つからないという人は、世の中にどんなこと（仕事でなくても構いません）があるのかアンテナを高くして情報を集めてください。自分でアンテナを高く張らなければ何も見つけることはできないでしょう。やりたいことを見つけるためには、自分から外の世界を見る努力が必要です。

2つ目としては自分の力を見極めることです。自分が今持っている力で何ができるのかを冷静に判断する必要があります。そして、場合によっては自分の力をやりたいことができる段階まで伸ばす努力も必要でしょう。上級学校に進学するに当たって受験勉強を行い、学力を伸ばすといったことは一番単純なこの例となるでしょう。

3つ目は自分が社会に求められていることは何なのかを知ることです。自分に他の人とは違う能力や特性があり、それが社会にとって必要とされるものであるならば、それが社会に求められていることとなります。例えば野球のイチロー選手やテニスの錦織選手のような特別な能力を持っている人たちが、それぞれのスポーツの場で活躍することなどが該当します。もしそういった明確な能力を持っていないとしても、「労働力」といった観点で見れば全ての人が社会に必要とされることとなります。それは「時間」や「力」といった類いでの貢献であるかも知れません。もちろん自分の持っているスキルを高めて、自分の持つ能力が社会に求められれば理想的な姿となります。

以上の3観点に重なっている部分で自分の将来像を描くこととなりますが、バランス良く重なった将来像を見つけられれば、やりがいのある人生を送ることができるはずです。そしてこのように描いた将来像が面接の際に伝えたい志願の事由につながっていきます。3年生の進路未決定者や、1・2年生のみなさんは上記の3観点で改めて自分自身を点検し、進路決定や志願理由を考える場面等で、慌てることなく準備が進められるようにしてください。

## 合格者体験記



私は、将来地元へ戻り保健師として働きたいと考えています。そこで卒業と同時に看護師と保健師の国家資格の受験資格を取得できる宮城大学を志望しました。受験の機会を1度でも増やすために、今年度導入されたAO入試を受験しました。1次試験に応募する書類は2ヶ月前から作成に取りかかり、納得のいくものを作成することができました。2次試験はレポートの作成、グループワーク、面接、口頭試問と試験が多かったのですが、一つ一つ対策し何度も練習を行いました。一般入試に向けてセンター試験の対策も同時に行っており、辛く苦しいこともありましたが、先生方や友人に支えられ合格することができました。本当にありがとうございました。

三浦 七海（宮城大学看護学群 看護学類 AO入試合格）

私は、英語と読書が好きで英文学に興味があることから、東北学院大学を指定校推薦で受験しました。試験は、小論文（課題文の要約と意見文）と個人面接でしたがいずれも自分の意見をまとめることができず苦勞しましたが、受験当日は支えて下さった先生方や周囲の方々、今までの面接練習や小論文指導を思い出し落ち着いて受験に臨むことができました。指導して下さいました先生方や先輩方、応援してくれた友人、そして家族のサポートがあったお陰で掴んだ合格です。将来は、地元に戻り、気仙沼市の震災復興に携われる公務員を目指していますので、大学生活では多くの事を学びたいと思っています。本当にありがとうございました。

小野 優（東北学院大学文学部英文学科 指定校推薦入試合格）

私は、高校2年生の頃、なんとなく就職するということしか考えていませんでした。そして情報類型ということもあり、事務の仕事に就ければいいと思っていました。ですが、3年生になって進路について真剣に考えたとき、事務職が自分にあまり合っていないことに気がきました。そこで中学3年生の頃になりたかったものを振り返ってみると販売・接客だということに気づきイオンリテールへの就職を決意しました。試験は面接と国数英の学力検査です。面接練習では、就職後どうなりたいかや志望理由について深く考え、先生方や友人に練習相手を何度もお願いしました。筆記は一般常識を集中的に勉強しました。不安もありましたが、多くのサポートのおかげで内定をいただくことができました。本当にありがとうございました。

熊谷 友香（イオンリテール株式会社東北カンパニー）

私は、将来地元の復興に携わる仕事がしたいと考えていました。また、情報類型で学んだことを活かして働きたいと思い、事務職を志望しました。選考方法は、国語・数学・社会・一般常識の学科と作文、面接でした。他の企業と比べると少し多いように感じましたが、毎月受験していた模擬試験が自信につながり落ち着いて臨むことができました。作文と面接は、先生方が私が納得するまで練習につきあって下さり緊張することなく受験することができました。ご指導くださった先生方、本当にありがとうございました。

福田 朱里（株式会社 小野良組）

## 高校生地産地消お弁当コンテスト

10月1日（土）に宮城大学太白キャンパスを会場とし、平成28年度高校生地産地消お弁当コンテスト最終審査会が開かれました。本校からは今年も2チームが参加し、1つのチームが見事5年連続となる県知事賞を受賞しました。今年も県内のスーパーなどで販売の予定です。

県知事賞受賞「開運福幸弁当」  
3年3組加藤虹花・2組小野寺怜加



入選「思い出いっぱい多幸弁当」  
3年2組 佐藤麻喜・高橋侑巳



## 生徒会が発足しました

このたび、新しく生徒会長になりました2年3組の佐藤彩苗です。私は西高を友達や経験などの様々な出会いであふれる場所に、その出会いが西高生一人一人の成長につながるような学校にしていきたいです。そのためにも「獅子奮迅、生徒による生徒のための生徒会」というスローガンのもとに活動していき、西高最後の1年を盛り上げ、記憶に残るものとなるようみんなで頑張っていきます。どうぞよろしくお祈りします。



